

インターバンクの声（2014 年 8 月 27 日）

今週に入ってからドル円相場は、104円を中心に上下おおよそ25銭以内の値動きが続いている。中長期的なドル高見通しに支えられるように103円70～80銭エリアではドルが底堅く、104円前半の上値では米債利回りの低さが障害となっていることもあり、ここは利食いのレベルになってしまっている。このレンジ内で繰り返す売買も、あと数日間であれば然程大きなリスクはなさそうだが、一方向に大きく動く相場を狙いたいとなれば、やはり今はユーロ・ドル相場が良いかも知れない。既に昨年11月の安値は割り込み、ちょうど一年前の安値1.31ドル台前半も目前に迫ってきている。ウクライナ情勢に気を付けながらの取引となるが、欧州中央銀行（ECB）が追加緩和に踏み切るとの見方が高くなっているため、大きな反発もそう簡単には起きにくそうだ。ユーロ圏と米国ではともに金曜日に幾つかの経済指標の発表もあるが、やはり大相場への期待が持てるのは、ECB 理事会開催や米雇用統計の発表もある来週になりそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。